

# みんなで創り育て支える豊田市の公共交通

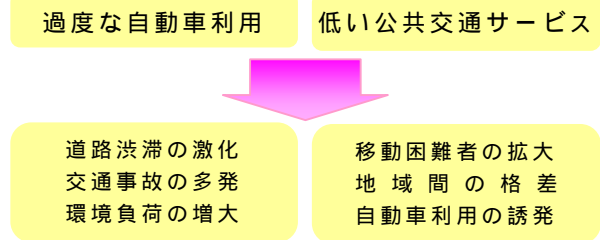
## (豊田市公共交通基本計画の概要)

豊田市では、平成17年度に「豊田市公共交通会議」を設置し、公共交通のあり方について検討してまいりました。この度、平成19年1月に実施したパブリックコメントで皆さんから寄せられたご意見を参考に、「豊田市公共交通基本計画」を策定しました。

### 豊田市の交通の現状と課題

#### 過度な自動車利用による交通事故や交通渋滞の増加、地球温暖化への悪影響 低い公共交通サービスによる移動困難者の拡大

豊田市では人々が移動する場合、約8割が自動車を利用しており、交通事故や道路渋滞など様々な交通問題を抱えています。一方で公共交通のサービス水準は低く、運行本数や料金体系などに関する改善が強く求められています。



### 豊田市公共交通基本計画の目的

#### 通勤や通学、通院や買物など日常の生活を営むために必要な 利便性の高い公共交通ネットワークをつくります

こうした課題に対応していくためには、公共交通を利用して誰もが安全で安心して移動できるまちにしていく必要があります。

本計画では、市民の皆さんが日常生活を営む上で必要な利便性の高い公共交通ネットワークをつくり、「都市としての一体性の形成」、「都市と農山村の共生」、「交流人口拡大による地域の活性化」を図ることを目的としています。

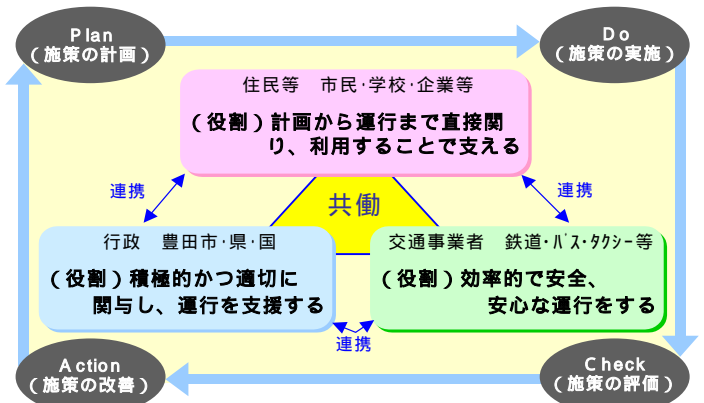
### 計画の基本方針

#### 公共交通は、社会資本の一部としてみんなで「創り」、「育て」、「支え」ます

公共交通の充実、利用者への直接的な効果だけでなく、社会に様々な効果をもたらします。

少子高齢社会や地球環境問題への対応  
外出機会の増加による健康増進や賑わいの創出  
交通事故の減少や道路渋滞の緩和 など

したがって、これからの公共交通は「住民」、「交通事業者」、「行政」が、道路や水道などと同じ社会資本として、継続的な評価・改善を行うなどみんなで創り、育て、支えていきます。



みんなが使う公共交通は、みんなで創り、育て、支えよう。



## 基本計画の内容

### 公共交通ネットワークを形成する5つの取組みを連携して展開します

#### 鉄道：市内および周辺主要都市を連絡する鉄道路線の充実

広域交通の役割を担うために必要な速達性、定時性、大量輸送の機能を十分に発揮できるように、複線化や高架化などの事業を、交通事業者と協力して推進します。

#### 基幹バス：都心、駅、支所等を相互に連絡するバス路線の充実

人の動きの状況、都市構造・土地利用などを考慮し、効率的で利便性の高いネットワークを構築します。

#### 地域バス等：地域（コミュニティ）内を運行し、交通結節点に連絡する公共交通の充実

地域の実情に応じた公共交通を、地域が主体となって企画・運営し、展開します。需要に応じて、マイクロバスや乗合タクシー、ボランティア輸送等により、最寄りの鉄道駅や基幹バスとの結節点へ連絡します。

< 参考例 >



高岡地区のふれあいバス  
定時定路線・毎日運行  
（乗合バス）



松平地区のともえ号  
定時定路線・週2日運行  
（乗合タクシー）



石野地区の電話予約バス  
路線方式の呼出運行  
（乗合タクシー）

#### 交通結節点：鉄道駅または公共交通機関を乗り継ぐ場所の整備

公共交通への乗継が快適にできるように駅前広場、ベンチ・上屋などの待合施設、パークアンドライド駐車場、駐輪場等の整備を推進します。

< 参考例 >



駅前広場



バス停上屋・ベンチ



バリアフリー経路



公共施設等を活用したバス待合室

#### 利用促進策：公共交通のPR活動やより利用しやすくするための様々な施策の展開

地域や職場、学校と連携し、利用促進活動や啓発活動を実施します。また、バスの現在位置や到着時間等をお知らせするバスロケーションシステムの導入、共通回数券やICカードによる料金支払等を推進します。

< 参考例 >



（電子バス停）



（施設内の運行情報板）  
バスロケーションシステムによるバス情報の提供



（携帯電話）



ICカードでの料金支払

## 計画の目標と今後のスケジュール

### 計画の目標(基準年2001年)

2010年(平成22年)までにバス利用者数を現状の1.5倍とする。

基幹バス路線等の利用状況、収支状況等は定期的に公表していきます。

### 《基幹バスのサービス水準》

#### 【運行時間帯・本数】

運行時間帯：午前6時頃～午後10時頃  
 運行本数：朝・夕 1時間あたり1本以上を確保  
 昼間 2時間あたり1本以上を確保

平日  
12往復  
以上

#### 【料金体系】

全市的に統一し、100円単位の距離制の料金とし、鉄道料金と同程度とします。

### 今後のスケジュール(予定)

平成19年度

6月：基幹バスの増便

矢並線(鞍ヶ池東～足助間) 8本 24本 九久平線(九久平～大沼間) 6本 24本 藤岡線 41本 42本

11月：基幹バスの新設・再編・増便

(仮)旭豊田線の新設 旭バス(足助線・藤岡線)の再編成 稲武足助線の増便

11月：新規料金体系の導入

基幹バスの一部、地域バスの一部

その他 地域バス等の改善・充実

愛知環状鉄道一部複線化(新豊田～三河豊田間)完了予定

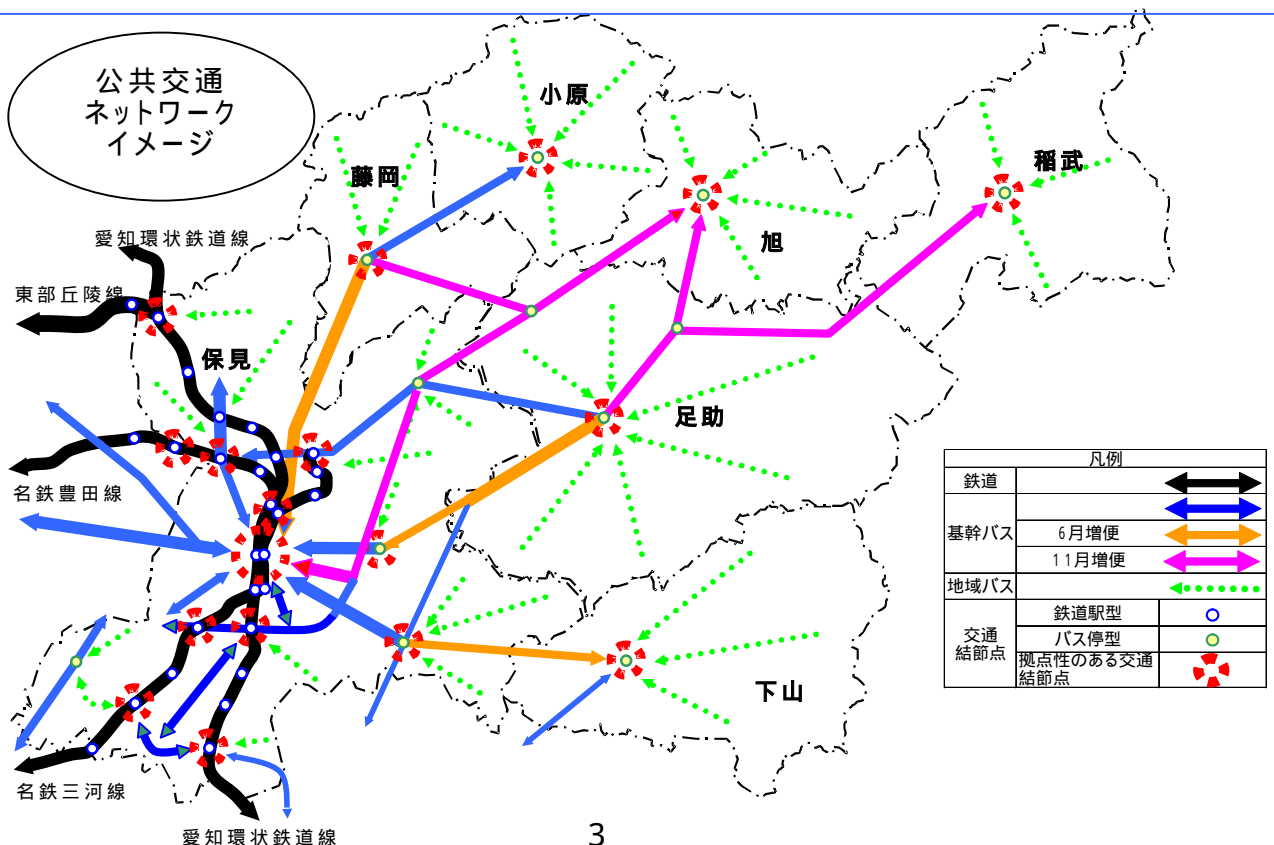
平成20～21年度

その他基幹バス、地域バス等の充実

平成22年度

評価指標に基づく路線の評価・改善(採算性のみでなく、公益性や効率性も考慮)

公共交通が  
とっても便利  
で使いやす  
くなるね。



## 豊田市を新しいバスが走ります

豊田市では、基幹バスを効率的に運行するために、平成 19 年度秋から新型車両を導入します。デザインは、「明るく、見やすく、乗ってみたいくなるバス」として豊田市景観有識者会議委員である水戸岡鋭治氏と木村徹氏からアドバイスをいただきました。

<イメージ図>

中型バス



小型バス



## バスの愛称募集

皆さんに親しみを持って利用していただけるように、豊田市を走るバスの愛称を募集します。

1. 募集期間 平成 19 年 6 月 1 日 (金) ~ 15 日 (金) 必着
2. 応募方法 はがき・封書・メール・ファックスのいずれかで、  
住所 氏名 電話番号 愛称名 をご記入のうえご応募下さい。  
お一人様何点でも結構ですが、1 通につき 1 点でお願いします。
3. 結果発表 審査のうえ、6 月下旬に豊田市ホームページに掲載します。
4. その他 応募者の個人情報は厳重に管理し、本公募以外の目的で使用することはありません。  
採用された愛称の著作権、使用权等一切の権利は、豊田市に帰属します。
5. 応募先・問合せ先

豊田市 都市整備部 交通政策課

〒471-8501 豊田市西町 3 - 6 0

電話 (0565) 34 - 6603 FAX (0565) 33 - 2433 E-mail koutsu@city.toyota.aichi.jp